

授業計画

学年	区分	教科名	科目名	授業時間	対象
高校2年	必修	国語	古典B 古文	週3時間	高2文系全生徒
到達目標	古文を読む力を養う。 1 読む ・長文の精読・速読をする。 ・初見の文章を読む。 2 文法 ・敬語法、助詞を理解する。 ・同形語の識別ができるようにする。 3 単語 ・重要古語約300語の暗記を確認する。 4 その他 ・上代から近世までの文学史を理解する。				
学習教材	教科書 『新探求古典B』(桐原書店) 副教材 『新要覧古典文法』(日栄社) 『重要古文単語315』(桐原書店) 『新訂国語総覧』(京都書房) ここまで昨年度から継続 『新日本文学史』(京都書房) 『新演習古典アチーブ1』『新演習古典アチーブ2』(桐原書店)				
クラス編成	クラス単位(3クラス)				
成績評価方法	年4回の定期考査の得点の合計に基づいて算出。 単語テストの加点を加味する。				

年間スケジュール

学期	学習内容	備考(指導方法など)
	読む:『枕草子』(中納言参りたまひて) 文法:敬語法の応用と総復習 単語:毎週20個ずつの単語小テスト 文学史:上代 私の『枕草子』作文	『枕草子』の他の章段を速読。 「春はあけぼの」「木の花は」「うつくしきもの」「雪のいと高う降りたるを」
	読む:『大鏡』(道長の剛胆) 文法:接続助詞、副助詞、係助詞 係り結びの「流れ」 単語:毎週20個ずつの単語小テスト 文学史:中古 『大鏡作文』	省略された主語を補って口語訳をすることを学ぶ。
	前期期末試験	

学期	学習内容	備考(指導方法など)
後期	読む:『平家物語』(木曾の最期) 文法:終助詞、間投助詞 単語:毎週20個ずつの単語小テスト 文学史:中世	『平家物語』全体の話の流れを説明した上で、「木曾の最期」を読む。
	後期中間試験	
	読む:『平家物語』(木曾の最期) 文法:同形語の識別(なむ・ぬ・ね・なり・なる・に・けれ・し) 単語:毎週20個ずつの単語小テスト 文学史:近世 『木曾の最期作文』	『平家物語』諸本の比較一巴の記事を巡って
後期期末試験		